

健康福祉分野 政策 1 「地域に根差したきめ細かな福祉の充実」

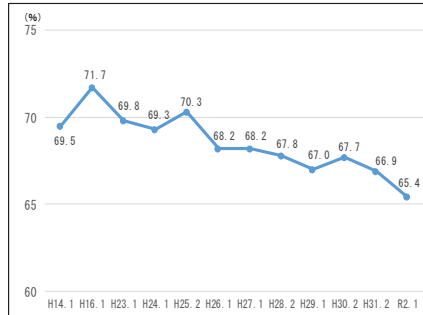
目指す姿

「自助」、「共助」、「公助」の適切な役割分担の下、市民が住み慣れた地域で健やかな暮らしができています。

【現状と課題】

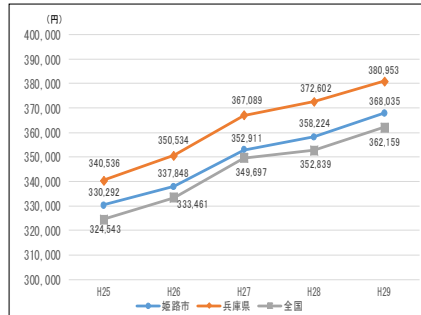
- 核家族世帯や単身世帯の増加等により、家族間での助け合いが難しくなっています。また、地域における付き合い方の変化やライフスタイルの多様化により、地域での支え合い意識の希薄化も進んでいます。
- 民生委員・児童委員や自治会等が地域の実情に合わせた見守り活動や交流活動などを行っていますが、さらなる高齢化の進行、ひとり親世帯や高齢単身世帯の増加などにより発生する新たな福祉課題を早期発見・早期対応するためには、地域の支え合い機能を高めていく必要があります。
- 高齢者、障害者、子ども、生活困窮者といった各福祉サービス対象者のニーズは増大し、また、それぞれが抱える課題も複雑化・多様化しています。
- 少子高齢化が急速に進み、社会保障制度の支え手となる現役世代が減少する中、医療や生活保障などの社会保障費は増加し続けており、社会保障制度を安定的に運営していくことが困難になると懸念されています。

※関連データ：現在の地域での付き合いの程度



(資料) 社会意識に関する世論調査 (令和 2 年 1 月) (内閣府)
※表中の数値は、「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」の合計値

1人当たり医療費の推移



(資料) 国民健康保険事業年報 (厚生労働省)
兵庫の医療保険 (兵庫県)

【目指す姿を実現するための方向性】

人

ア 住民一人ひとりの福祉意識の醸成

住民一人ひとりが、個人や地域の抱える福祉課題を自分事として捉え、地域福祉活動に参加することができるよう、住民による呼びかけや雰囲気づくりの促進、福祉に関する情報提供の充実などを通じて、住民の福祉意識を醸成します。

イ 地域福祉の担い手づくり

地域福祉の中心的な担い手である民生委員・児童委員や自治会に加え、地域で活躍する若者や福祉ボランティア、NPO 法人などの活動を支援することを通じて、地域福祉の担い手づくりに取り組みます。

地域

ウ 身近な地域の福祉力の向上

住民が主体的に福祉課題を解決することができるよう、民生委員・児童委員、自治会等の地域団体、医療・福祉関係者など多様な主体が連携し、日頃から身近に相談しやすい体制づくりを進めるなど、地域の福祉力の向上を図ります。

活力

エ 包括的な支援体制の構築

切れ目のないきめ細かな支援が受けられるよう、地域福祉活動の中核的拠点である姫路市総合福祉会館を中心とした相談支援体制の強化や福祉サービス等に関する情報発信など、住民が安心して暮らせる包括的な支援体制を構築します。

土台

オ 社会保障制度の適切な運営

国民健康保険制度や後期高齢者医療制度、生活保護制度などの仕組みに対する理解のさらなる普及や相互扶助意識の高揚を図るとともに、生活習慣病の発症・重症化予防を通じた医療費の増大抑制や、被保護者等の経済的・社会的自立に向けた支援などにより、社会保障制度の維持・安定に取り組みます。

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市民

- 地域が抱える福祉課題を自分事として捉え、福祉活動に積極的に参加しましょう。
- 日頃から健康に関心を持ち、健康の保持・増進に努めましょう。

地域コミュニティ

- 民生委員・児童委員や社会福祉協議会、福祉事業者など地域の多様な主体と互いに連携・協力しながら、地域の見守り活動や身近に相談できる関係づくりに取り組みましょう。

企業・団体

- 地域で実施される福祉活動に参加しましょう。
- ボランティア休暇の導入などを通じて、福祉活動に参加しやすい環境づくりに取り組みましょう。